

○基本施策に関する主な事業実施状況

		基本施策	事業実施状況	事業に関する評価
ステージ別の取組み	事前対応	電話相談体制の強化	電話相談を行う NPO 法人に助成し、電話相談体制の強化を図っている。	年々相談件数は増加しており、電話相談窓口の需要は高くなっていると考えている。
		心の健康に関する出前講座の実施	県精神保健福祉協会に事業を委託し、県内の中小企業や大学等を対象に富山県公認心理師協会から講師を派遣し、講義を実施する。	職域でのゲートキーパーを養成するためのメンタルヘルス対策、うつ病等の心の健康に関する基本的な知識や適切な対処方法等についての講義を実施している。継続実施の事業所が多く、新規事業所の獲得が課題である。
	危機対応	薬剤師を対象とした自殺に関する研修の実施	県薬剤師会に本事業を委託し、毎年異なるテーマで自殺対策に係る研修を開催している。 ※令和3年度は139名が受講	薬剤師を対象とした自殺対策に係る研修を実施することで、自殺リスク者の発見や支援につなぐことができる。また、研修会は、薬剤師の交流の場にもなっており、薬剤師間の連携の強化を図ることができていると考えている。
		精神科救急情報センターにおける相談の実施	精神障害者及びその家族等からの緊急的な精神医療相談に適切に対応するため、県で電話窓口を設置し、県内の各精神科病院の協力のもと、電話相談業務及び入院及び受診に対応している。	夜間・休日など、病院等の営業時間外での緊急的な精神医療相談にも対応しており、迅速に必要な医療に繋げることができていると考えている。
	事後対応	自死遺族等を対象としたカウンセリングの実施	自死遺族等を対象に、精神科医と臨床心理士がグリーンケア相談を実施している。	長期にわたり継続的な対応が必要なケースが多く、相談予約が埋まっている状況が続いている。また、相談したいタイミングでグリーンケア相談日に繋げないことも度々あり、心の健康センター相談員が対応するケースもある。
		民間団体が行う相談活動等への助成	県内で自殺防止活動に取り組む NPO 等の民間団体の活動に対し補助している。 ※R3年度は17団体に補助	行政機関のマンパワーを補完し、地域の自殺抑止力向上を図るために有効であると考えている。
	事前対応の更に前段階	SOS の出し方に関する教育	各学校において、担任、養護教諭、生徒指導主事、カウンセリング指導員、スクールカウンセラー等が、児童生徒の発達段階等の実態に応じて行っている。	各学校の実態に応じて行っており、実施率も高くなっている。
市町村等への支援の強化	市町村が行う自殺対策推進事業への助成	県内の市町村が行う自殺対策推進事業に助成している。	市町村支援の一助となっており、今度の継続が必要と考える。	
実態把握と分析	児童・生徒の問題行動等調査	文部科学省が毎年実施する「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」において、本県のいじめや不登校、暴力行為等の状況を確認している。	本県のいじめや不登校、暴力行為等の状況を把握し、施策の検討に役立っている。	